

## 研究課題名 $^{123}\text{I}$ -MIBG を用いた副腎シンチにおける集積度合の評価と定量化の検討に関する情報公開

### 1. 研究の対象

2012年4月から2014年4月まで、名古屋大学医学部附属病院放射線部アイソトープ検査室にて  $^{123}\text{I}$ -MIBG を用いて副腎シンチグラフィを施行した、45 症例。

### 2. 研究目的・方法

近年、核医学検査において  $^{123}\text{I}$ -MIBG を用いた副腎シンチグラフィが保険適用となり、多くの検査が施行されるようになった。副腎は左右に二つあり、 $^{123}\text{I}$ -MIBG の集積の左右差と程度により活動性の腫瘍の存在を診断する。しかし副腎は大きさが数 cm 程度と小さく、またこれまでに集積の度合と悪性度の関係性を調べた文献はない。本研究の目的は SPECT-CT 装置を用いることにより、客観的な集積度合の指標を構築するものである。研究期間は 2013 年 03 月 21 日 ~ 2018 年 03 月 20 日である。

### 2. 研究に用いる試料・情報の種類

$^{123}\text{I}$ -MIBG を用いた副腎シンチグラム  
診療情報として性別、年齢、身体情報（身長、体重など）等

### 4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

名古屋大学医学部附属病院医療技術部門放射線部門

名古屋市昭和区鶴舞町 65                      052-741-2528

医学部附属病院医療技術部放射線部門診療放射線技師長 阿部真治

研究責任者：

名古屋大学大学院医学系研究科医療技術学専攻医用量子科学講座教授 加藤 克彦